



企画展

地上の羽衣を縫う女

—むらかみよしこタペストリー展—

平成22年 10月13日(水) - 12月26日(日)

■女の手の縫い針が、チクチクと布を刺していく。色とりどりの布は、赤子の産着や暖かい綿入れ袴纏、浴衣や振り袖などあらゆる衣服に形を変えていく。女の指先の魔術は、ぬくとい慈愛を縫い込んで子や孫やひ孫たちを守り、それぞれの人生への旅立ちを見送った。むらかみよしこ新作タペストリー「地上の羽衣を縫う女」は、亡くなった母をテーマにしています。ほっそりとした小さな手がなした生涯の仕事と生活。苦労や困難をかいくりながら、指先の針はその度本領を発揮していったのではない。綴れ織で描き出した絵柄の中では、大銀杏の葉が散る大空を、母が慈しんだ子らがみな風によって遊んでいる。遠い過去と未来をつなぐ女の生き様が、終わりのない物語のように広がり続いています。その他新作を含む約20点を展示。

■羊の原毛を使用した草木染・糸紡ぎ・手織り作品。使用した植物は、藍、スギやヒノキの皮、クサギの実、サクラ、キク、クス、モッコク、クルミ、アカネなど50種類以上。作品「地上の羽衣を縫う女」の大きさは5枚組作品250cm×230cm。



猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本最大の縄文土器制作など、縄文野焼き技法の第一人者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】 午前9:30～午後5:00
【休館日】 毎週月曜日
【観覧料】 一般400円 高校生200円
【アクセス】

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分